

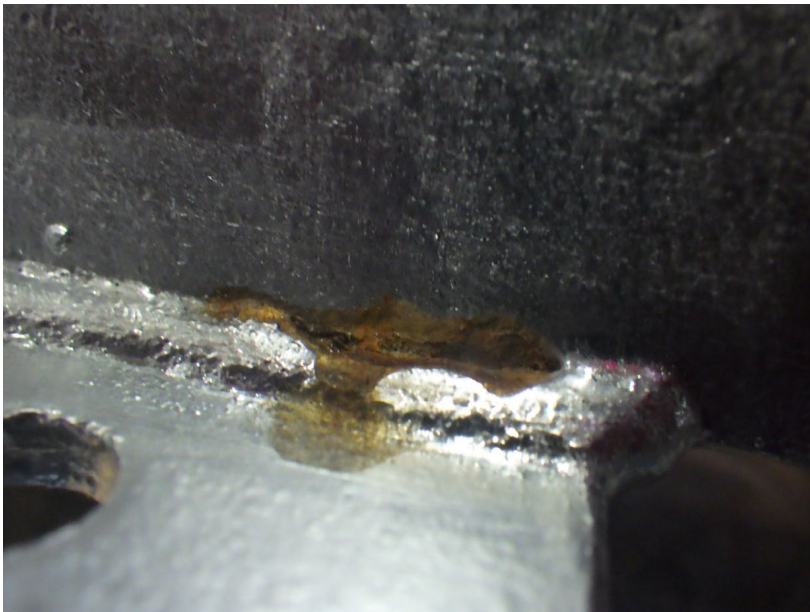
8. 貼り合わせ構造について

貼り合わせ構造部は密閉状態になるため、必ず穴明けまたは断続溶接を行い、密閉状態にならないようにして下さい。密閉状態で溶接ピンホールから水分が入り込むと、めっき浴中で水蒸気爆発を起こし大変危険です。



全周溶接を行う場合、貼り合わせ部の面積400㎡ごとに栓溶接を1箇所施して下さい。

貼り合わせ部の面積が大きい場合は溶接せず、単体でめっきを行いボルト接合とすることをおすすめします。



貼り合わせ面にめっき工程の処理液が入る、あるいは雨水などの水分が入り込むことで酸シミや錆汁が表面に流れ出る場合があります。

貼り合わせ部に対し、全周溶接を行うことで抑制が可能です。ただし、ピンホールのない適切な溶接を行って下さい。